

新型コロナウイルス感染症による影響調査(従業員数について)【集計結果】

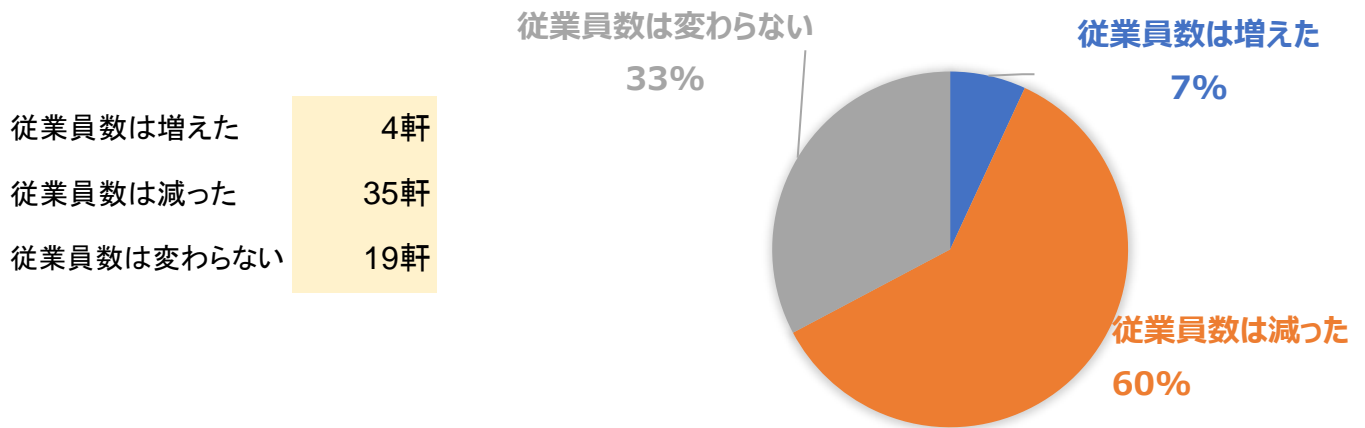
県内における新型コロナウイルス感染症が確認されてから約1年が経ち、コロナ禍で私たちの行動が制限され経営環境悪化や、働き方が変化するなか従業員数についても変動があったと思われます。今回は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前後の従業員数について調査いたしますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

※なお、集計データについては、数字のみ活用し、施設名は公表いたしません。

令和3年1月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

調査対象：296軒 うち回答：58軒（回答率 19.5%）

1. 新型コロナウイルス感染症拡大前後の従業員数について



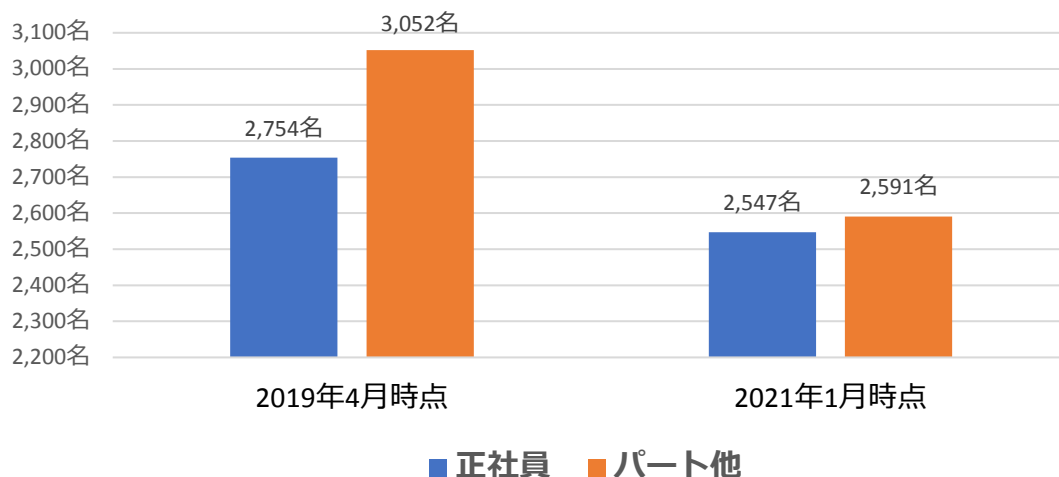
2. 2019年4月時点と、2021年1月現在の従業員数を教えてください。

	正社員	パート・アルバイト・契約社員派遣社員含む
2019年4月時点 →	2,754名	3,052名
2021年1月時点 →	2,547名	2,591名

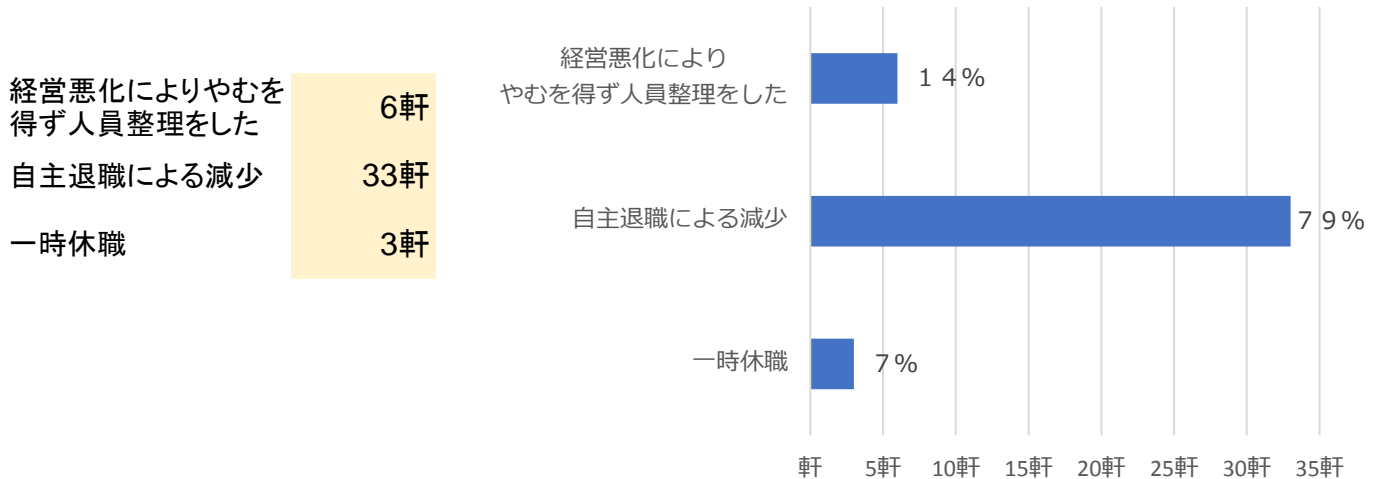
増減差(名)

▲ 207名

▲ 461名



3.従業員数が減少している施設にお尋ねします。減少した理由としていずれに該当しますか？



- ・今のところ人員整理はしていない
- ・3月末で5名～10名が契約終了予定。
- ・人員整理は一切ないが、自主退職者があってもコロナ禍の影響で社員採用を控えていることから、社員数が減となった。
- ・人員整理はしていません。雇用調整助成金を受けながら雇用を維持しております。
- ・2020年4月に契約社員から一律での正社員登用を行ったため、数字上では正社員数が増加しています。しかし現状は何とか雇用維持に努めている状態で、日に日に状況は悪化してきております。
- ・運営方針の変更（夕食レストランクローズ等）や、休館時のグループ施設へのスタッフ派遣をしている。
- ・清掃業者を委託していたが、自社で引き取るようになったため増えた。
- ・契約満了、自己都合が契約社員の減少理由になります。
- ・一時休職という形になってしまい、心苦しい。助成金の活用を考えているが立替が難しい。
- ・コロナで売上・収益の減のため、定年退職や自主退職、契約満期後に、新規採用活動をしなかった。
- ・派遣社員を採用しないようにした。
- ・学生アルバイト卒業での減少。感染症拡大に於ける業績悪化により、追加人員を控えている。